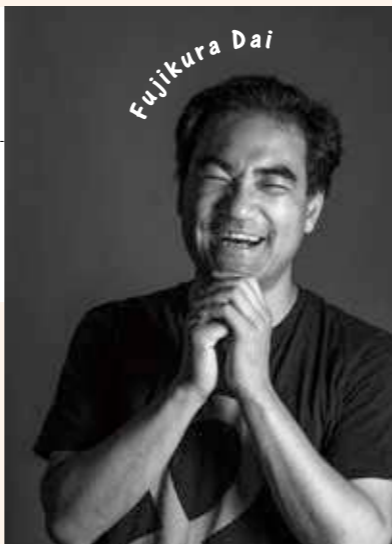




## ボンクリ・フェス2020

"Born Creative" Festival 2020  
アーティストック・ディレクター：藤倉 大



©Seiji Okumiya

## 世界中の新しい面白い音に出会えるお祭り

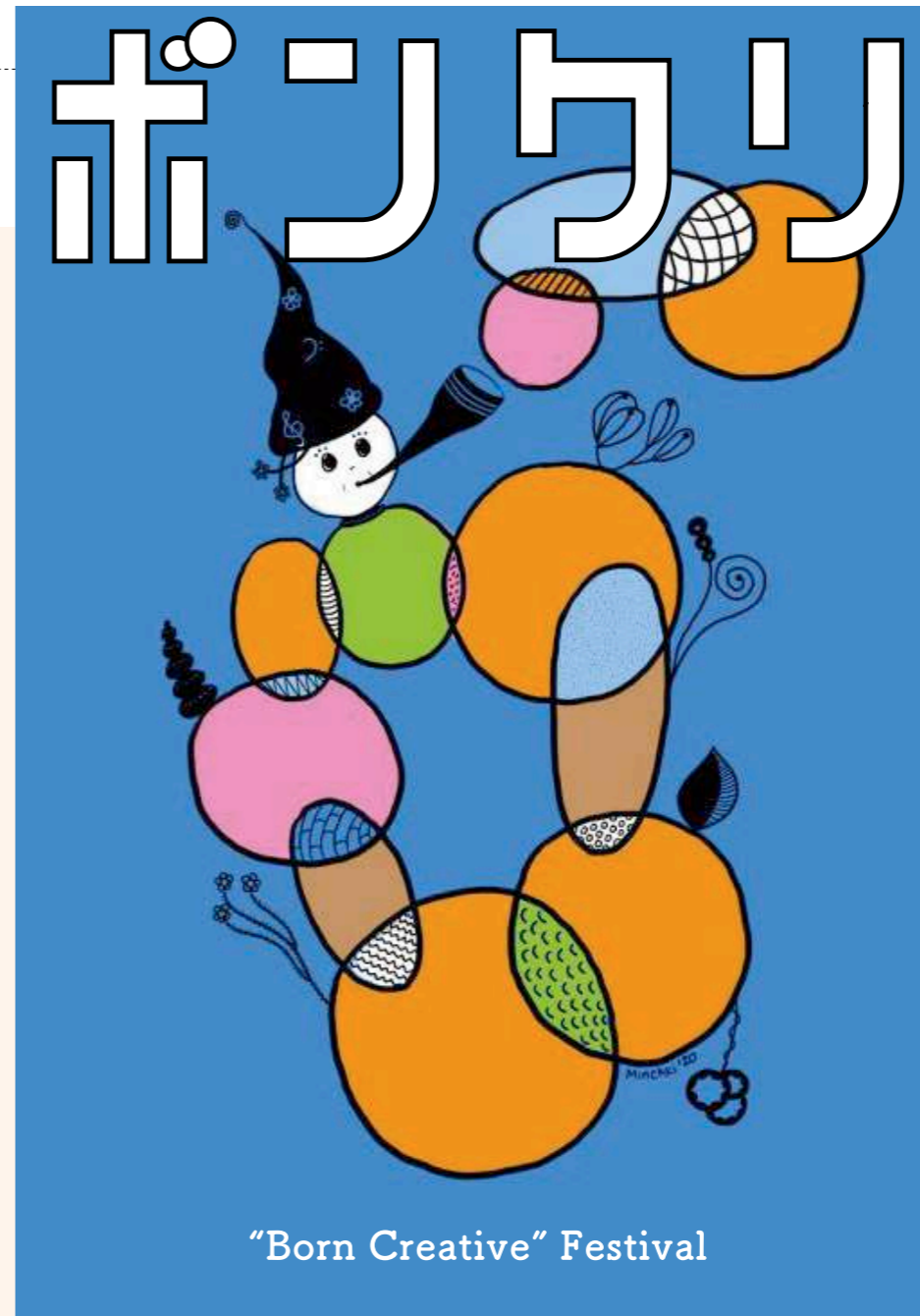
「ボンクリ・フェス」はなぜこんなに盛り上がるのか？ 本企画のアーティストック・ディレクター、作曲家の藤倉大は、いったいどんなアーティストに声をかけているのか？

今年で4年目となる「ボンクリ・フェス」。いまや東京芸術劇場を代表する音楽企画のひとつとして、新しいファンがどんどん集まってくる、ボーダーレスな音楽祭へと成長し続けている。その魅力は、第一に、特定のジャンルには決して収まらず、知識も必要とせず、世界中の新しい面白い音が体験できる遊園地のようになっていること。第二に、出演者の豪華さの割にはチケット代が安く、家族連れで肩ひじ張らずに過ごせること。第三に、アーティストや制作者自身が、このイベントを自分のやりたかったことを実現できる場として、存分に楽しんでいること。「ボンクリ・フェス」のこの不思議な楽しさは、アーティストック・ディレクターをつとめる作曲家・藤倉大の果たしている役割が何と言っても大きい。「ボンクリ」の語源は、Born Creative、つまり人は生まれながらにしてクリエイティブだ、という意味だが、藤倉さんと話をするたびに思うのは、この人はコミュニケーションのかたまりみたいな人だ、ということだ。それが、どこか

本質的なところで、クリエイティビティと結びついている。藤倉さんに「ボンクリに招く人に共通の特徴は？」と尋ねると「一緒に音楽作りたくない！という人たちですかね」という答えが返ってきた。さらに突っ込んで「じゃあ、一緒に音楽を作りたいと思う人に共通の特徴は？」と訊くと、こんな答えだった。「コラボレーションの意味は、自分にはないものを持っている人と協力して何かを作る、です。たとえば演奏家でも、単に楽器を弾いて、自分個人の良いところを出そうと思って生きているというよりは、他のいろんな能力を持った人との化学反応を作品とするような人と一緒にやりたい、という感じでしょうか」そしてこう付け加えてくれた。「今から先の未来、5分後も、明日も、10年後も、100年後も、未来にこんな音があったらいいなと、常に自分なりに思っていて音楽を作っている人たちが集まる音楽祭だったらいいなと思います」

今年のボンクリは初めて2日間へと拡大され、いろいろな音に触れられるチャンスもさらに増える。オーストラリアからジャンルレスアンサンブル・スリーに新しい音楽を紹介する「Ensemble Three」。伝統邦楽を足場にしながらもあらゆるジャンルのアーティストとコラボする箏奏者・八木美知依。北欧からはノルウェーの即興音楽祭「PUNKT」を主宰するインプロヴァイザーたち。新しい音楽を常に追求し続けるヴィオラ奏者アン・ランツィロッチェ。自身のエレクトロニクス作品を一日中体験できる大友良英。他にも多様なアーティストや音の職人・冒険家たちが、それぞれ東京芸術劇場の中に「部屋」をもちながら、体験への扉を用意してくれている。スペシャル・コンサートでは、アンサンブル・ノマドがコアとなりながら、坂本龍一の日本初演作、そして藤倉大の世界初演作を中心に、今が旬の新しい響きが、未来志向の音楽が、たっぷり楽しめるに違いない。

文：林田直樹（音楽ジャーナリスト・評論家）



## ボンクリに躍るノマド

“ノマドの部屋”は今年もノマドらしさ炸裂のラインナップを揃えました。アフリカン・ドラム風の打楽器ソロ曲『サイド・バイ・サイド』は、曲の魅力に惚れ込んでノマド版を無理強いしたが、余りの難曲に「なんてバカな依頼を」と茫然。当日には苦行を耐えぬいた成果にご期待ください。

スペシャル・コンサートで演奏する作品を巡って数カ月の藤倉監督とのメールのやり取りが続いていたある日「これ、めっちゃカッコよくない!？」とのメールが飛び込んできて、一発で決まったのがハイナー・ゲッペルス作品『サロゲイト』だった。これが記念すべき日本初登場か。ラッパーのダースレイダーの切っ先鋭い言葉にも注目。

文：佐藤紀雄（ギタリスト、指揮者、アンサンブル・ノマド音楽監督）

Sato Norio



©Akitoshi Higashi

## デイトム・プログラム 2020年9月25日(金)～9月26日(土) 館内各所 詳細はHPへ

### 誰でも楽しめる! 無料プログラム

- アトリウム・コンサート  
出演者：後日発表
- 電子音楽の部屋(入退場自由)  
監修：榎垣智也
- 大友良英の部屋(入退場自由)
- 藝大COIの部屋  
制作協力：東京芸術大学COI拠点

### アーティストの「好きなこと」を詰め込んだワークショップ・コンサート!

- |          |   |
|----------|---|
| 9月25日(金) | ● ニルスのトランペットの部屋<br>演奏：ニルス＝ベッター・モルヴェル  |
|          | ● 箏の部屋 演奏：八木美知依ほか   |
|          | ● ヴィオラの部屋 演奏：アン・ランツィロッチェ  |
| 9月26日(土) | ● ノマドの部屋 演奏：アンサンブル・ノマド  |
|          | ● トーンマイスター石丸の部屋 一シュトックハウゼンからアニメのサウンドエフェクトへ 講師：トーンマイスター石丸                      |
|          | ● オーストラリアの部屋 演奏：アンサンブル・スリー<br>[ジョエル・ブレナン(トランペット)、ドン・インメル(トロンボーン)、ケン・マレー(ギター)] |
|          | ● プンクトの部屋 演奏：ヤン・バング、エリック・オノレ、アイヴィン・オールセット、アルヴェ・ヘンリックセン                        |

※「スペシャル・コンサート」のチケット購入者対象、事前申込制、有料。



©Hikaru. ☆



©Hikaru. ☆

## スペシャル・コンサート 詳細はHPへ

2020年9月26日(土) 14:00 開演 コンサートホール

出演：アンサンブル・ノマド(指揮：佐藤紀雄) アン・ランツィロッチェ(ヴィオラ) アンサンブル・スリー[ジョエル・ブレナン(トランペット)、ドン・インメル(トロンボーン)、ケン・マレー(ギター)] 八木美知依(箏) ダースレイダー(声) ヤン・バング(エレクトロニクス) エリック・オノレ(エレクトロニクス) アイヴィン・オールセット(ギター) アルヴェ・ヘンリックセン(トランペット) 大友良英 ノマドキッズ 藤倉大(エレクトロニクス) サウンドデザイン：永見竜生[Nagie]

曲目：藤倉大/THREE ※日本初演 八木美知依/水晶の夢 ハイナー・ゲッペルス/サロゲイトピアノと打楽器、声のための一 牛島安希子/Distorted Melody ※日本初演 『Distorted Melody』PUNKT ライブ・リミックス 大友良英/新作 ※世界初演 坂本龍一/バサージュ ※日本初演 藤倉大/ヴィオラ協奏曲 ※世界初演

## 大人ボンクリ 詳細はHPへ

2020年9月26日(土) 19:30 開演 コンサートホール

ボンクリ・フェス2020のアーティスト選曲による“出演者なし”の電子音楽コンサート。



©Hikaru. ☆

※「スペシャル・コンサート」のチケット購入者対象、無料。